

HAKUOH JHS NEWS

白鷗大学足利中学校新聞 -vol.105-



発行所／白鷗大学足利中学校新聞委員会 足利市伊勢南町4-3 TEL.0284-42-1131

みんなで掴んだ優勝
緑組組長 福田 岳穂

中学生最後の体育祭、僕は組長になった。組長に選ばれた時、嬉しい気持ちもある反面、みんな



総合優勝！緑組

10月5日(日)縦割りチーム対抗の体育祭が行われた。前日から天候が心配されたが、運動しやすい気温、澄み切った青空になり、まさに体育祭日和となった。今年度は、人工芝のグラウンドで初めての開催となった。色鮮やかな人工芝に、生徒も胸を躍らせていた。日頃の練習の成果を思う存分発揮し、最後の競技まで接戦になるほど、熱い戦いが繰り広げられた。

体育祭スローガン

輝くゴールへ突き進め！
一致団結 皆が主役の大舞台

を上手くまとめられるかどうかという不安もあった。最初の予行では作戦が思うようにいかなかったり、意見が合わなかったりした。それでも諦めずに、先生や同じ組の人

達と話し合い、もう一度作戦を立てて、練習に励んだ。そして、体育祭当日。結果は、優勝だった。もちろん喜んだが、僕は、結果よりも、組のみんなが全力で競技に取り組んだこと、体育祭を楽しめたことが非常に嬉しかったのだ。一生、忘れられない思い出になった。そして、本気になること、仲間たちと協力して取り組むことの大切さを僕は学んだ。この経験を、日常生活において、役に立てていきたい。

心を一つに
橙組組長 鶴田 拓也

僕は体育祭で組長になった。そして、組長の役割や責任を果たすことの大変さを実感した。自分が見てきた組長たちも同じ気持ちだったのではないだろうか。

橙組は、出場する競技を決めるのにもさきも時間が掛かってしまった。それに、怪我人が数人出



てしまい、作戦を練り直すことが何度あった。その作戦を伝えられる時間も少なく、苦労した。正直、このままで大丈夫なのだろうかと不安になることがあった。しかし、体育祭本番が近づくにつ

やりがい
赤組組長 松林 夏澄

「絶対このメンバーで優勝しよう！」前日、最後の組別ミーティング

れ、一人ひとりが優勝したいという気持ちが強くなり、まとめることができた。そこで、思い切つて、体育祭前日に作戦を大きく変えた。みんなが理解を示してくれたことが、嬉しかった。

体育祭当日。作戦通りに行えた競技もあれば、上手いかなかった競技もあった。結果は、3位だった。だが、全員が全力を尽くしたから悔いはない。

後輩たち、今回の経験を次の体育祭に生かしてほしい。そして僕を支えてくれて、ありがとう。橙組の組長になることができて、本当に良かった！

僕は白鷗中の行事で一番体育祭が好きだ。なぜなら、三つの学年が一つになって、目標達成を果たす唯一の行事だからだ。僕はその一番好きな最後の体育祭を忘れられない思い出にしたいと思い、組長に立候補し、組長となった。初めは、今までの組長のように学年の壁を越えられるかどうか不安だったが、青組のみんながとにかく明るく、元気で、2回目のミーティングでは、もう組が一つになっていると思うくらい

で組のみんなにかけた言葉だ。以前から、私は体育祭の組長に憧れていた。何人もの組員をまとめる姿がかっこよかった。いざ、組長になった私の目標はただ一つ。優勝することだ。一人ひとりの考えをまとめることは決して簡単ではなかった。しかし、一度も苦に思ったことはなかった。むしろ、あれこれと考え、今回の体育祭で思い出に残っていることは、玉綱引きでは、たった40個しか入らなかった玉が、本番では65個も入ったこと。そして、どの競技も全力で、楽しそうに取り組む組員の姿だ。負けても笑顔を忘れない。そのような組員たちから元気をたくさんもらった。練習通りにいかず、結果は4位だった。正直、悔しかった。だが、それより

最高の思い出

青組組長 皆川 空

青組は最初、あまり得点が伸びず、順位も高くなかった。しかし、練習してきたリレーで逆転し、準優勝をすることができた。優勝には届かなかったが、3年間で一番、心に残った体育祭となった。共に戦い、共に喜び、最高の思い出を作ってくれた青組のみんなに、感謝の気持ちを伝えたい。ありがとう！

も「やり切った」という達成感で、私の心は満ち溢れた。

体育祭の後、組員に声をかけた。「私たちのやる気と笑顔は、どの組にも負けていなかった。1位だった！」



林間学校

志賀高原(7月21日〜23日)

初めて見たホタル

3年1組 川田 葉

私が今回の林間学校で印象に残ったのは、ホタルの鑑賞である。国の天然記念物にも認定されたホタルが、暗闇の中を舞う様子は、とても素晴らしい、自然の偉大さや生



命の尊さを感じた。普段の生活では、絶対に見られない光景を友人たちと見られたことをとても嬉しく思う。

これまで3回、林間学校に参加したが、どれも大切な思い出になっている。毎年、様々なことを計画し、実現してくれた先生方には感謝してもしきれない。

自然のおかげ

2年2組 菅野 友絆

今年の林間学校で学んだことは、まず、自然の大切さだ。山道では、木の中で発光するキノコ等を見ることができた。そして、暗い夜の中で光を

次に、礼儀の大切さを学んだ。施設の物を綺麗に使う。「いただきます」を大きな声で言う。当たり前のことではあるが、感謝の気持ちや周りを思いやる心を持つことを忘れずにいたい。

この林間学校で、自分は大きく成長した。学んだことを日常生活においても役に立てていきたい。



輝かせるホタルに、思わず見とれた。この自然の美しさを守っていききたい。

林間学校の思い出

1年2組 皆川 希莉

林間学校で一番楽しかったことは、キャンプファイヤーだ。私は実行委員として、大勢の前でダンスを披露することになった。本番前までは「失敗したらどうしよう。恥ずかしい。」と不安になったが、いざ踊ってみると、みんなと踊るのが楽しくて仕方がなかった。また、有志の先輩たちの出し物は、とてもかっこよくて釘付けになった。



来年の林間学校では、私たちが最上級生となる。下級生たちに楽しんでもらえる林間学校にしたい。

「税についての作文」では、本校から2名が表彰されました。★栃木県納税貯蔵組合連合会長賞 3年1組 関根 理峰さん 3年2組 鈴木 朝香さん 左記に、関根理峰さんの作文を掲載します。

「身の周りの税」

3年1組 関根 理峰

栃木県足利市の中央部を流れる渡良瀬川。それに架かる橋の一つ、「中橋」は学生や市民をはじめ、多くの人々が利用している。私もその一人だ。さて、中橋は令和3年度から橋を架け替えるという計画が進められている。私は初めの方はあまり興味を持っていなかったが、ある時、学校で、「中橋の架け替えは107億円もかかる」「三連アーチの移設は国内初」という話を聞いた。私は、驚いて、流石にお金をかけすぎているのではないかと、工事が大袈裟なのではないかと思ってしまう。国や県からお金を出す、つまり税金を使っているのだから、より慎重になるべきだと思ったのだ。それに、多くの人が使うのに通行止めをして

まで、今、架け替える必要があるとは思えなかった。しばらくしても、そのもやもやが消えなかったため、思い切って調べてみた。

すると、橋の架け替えは、中橋の部分だけ堤防が低いため、かさ上げをする必要があること。中橋やその先にある歩道の狭さを改善して、安全性を高める必要があること。長年、親しまれた三連ア



ーチを残したいという市民の想いを組むことなど、多くの理由があることが分かった。税金を軽々しく使っているわけではない。利用者のことを考えなかったわけでもない。むしろ、逆だったのだ。そう分かって、私は先程の考えを恥ずかしく思った。そして税金とは、軽々しく一部の人に使われているのではなく、私たち国民のために、何度も何度も話し合いを重ねたうえで使われているのだと実感することができた。税金があることで、身近な人だけではなく、遠くの顔も知らないような人とも支え合える。それこそが、税金の良さなのだと分かった。

現在、橋の歩行者や自転車用の橋が完成し、もう一つの橋は令和9年度に完成する予定である。あと2年。その間に私は、どれほどの税金に支えられて生きていくのだろうか。どれほど税金について理解を深められるのだろうか。今回、税金について学べたことはあるが、知るべきことは、まだまだある。

橋、信号、教科書、その他にも様々な物になって私たちの生活を作り、守っている税金。少子高齢化の世の中で、今より福祉や医療、育児などに使われる割合が多くなり、納税が私たちにとても大変になることは容易に想像できる。だが、そのように今でも今回のように税金の使い道を調べるなど、身近なことから税金

について知ろうとすることが、これからの私たちにとって大切なのだと思う。

完成! 人工芝グラウンド

旧中学校校舎があった場所に、人工芝グラウンドが5月に完成した。主に体育の授業、中学・高校のサッカー部の練習、体育祭等で使用している。水はけも良く、1年中、青々とした芝生。また、ゴムチップがあることで、膝や腰への負担が減ったようだ。快適な環境の中、生徒たちは体を思いっきり動かすことができる。



合唱祭

11月14日(金)

【曲名】

- 1年1組 「地球星歌〜笑顔のために〜」
- 1年2組 「大切なもの」
- 2年1組 「旅立ちの時〜Asian Dream Song〜」
- 2年2組 「あなたへー旅立ちに寄せるメッセージ」
- 3年1組 「Chessboard」
- 3年2組 「友〜旅立ちの時〜」



【生徒演奏】

- ヴァイオリン演奏 「パプリカ」 作曲 米津 玄師
3年2組 嶋原 湊音 1年2組 嶋原 渚音
- ピアノ演奏 「水平線」 作曲 清水 依与吏
3年2組 鈴木 翼
- ピアノ演奏 「華麗なる変奏曲 作品12」 作曲 ショパン
3年1組 伊澤 晶子

【審査結果】

- 【最優秀賞】3年1組
- 【優秀賞】 3年2組
- 【最優秀指揮者賞】
1年2組 稲村 圭悟
- 【最優秀伴奏者賞】
3年1組 伊澤 晶子



体育デー

7月10日(木)、新校舎アリーナで体育デーが開催され、熱戦が繰り広げられた。結果は以下のとおり。

〈卓球 男子〉

- 優勝 萩原 雅公(2-2)
- 準優勝 小暮 彦輝(2-2)
- 第3位 渡邊 瑠亜(3-2)

〈卓球 女子〉

- 優勝 前原 花音(3-1)
- 準優勝 小林 祐舞(3-1)
- 第3位 阿部 珠々南(3-1)

〈バドミントン 男子〉

- 優勝 野村 優温・穂積 昌治(3-2)
- 準優勝 坂本 鷹乃助・戸金 暁太郎(1-1)
- 第3位 悦永 遼・皆川 空(3-1)

〈バドミントン 女子〉

- 優勝 関口 心虹・中村 真優(3-2)
- 準優勝 富福 杏奈・橋本 莉杏(3-2)
- 第3位 鈴木 翼・村里 緒時(3-2)

白鷗大学足利中学校入学試験のご案内

	試験日	出願手続き期間 ※インターネット出願
第2回 入学試験	令和8年 1月24日(土)	令和8年 1月 5日(月)〜 1月11日(日)

TEL.0284-42-1131 詳しくは 白鷗大学足利中学校 検索